

第11区



矢内 詩音 選手
(富岡高 1 年)

「自分の走りとしてはよかった。チームにはあまり貢献できなかった。速く走れるように練習したい」

第10区



渡辺 克幸 選手
(富岡消防署)

「たすき渡しのミスであせってしまい、長い距離のペース配分を間違えてしまった。来年は弟(伸治さん)と妹(みゆき選手 9区)の3人でたすき渡しがしたい」

第9区



渡辺みゆき 選手
(広野中 3 年)

「思っていた以上に走ることができた。来年は今年よりもいい結果をだしたい」

第8区



阿部 知弘 選手
(広野中 2 年)

「もっといい成績がほしかった。来年はとにかく頑張りたい」

第14区



中島 武 選手
(東北電力原町技術センター)

「最後の300mは苦しかった。相手に抜かれそうで不安でしたが抜かれまいと頑張りました。今年の大会で最後にならないようトレーニングしたい」

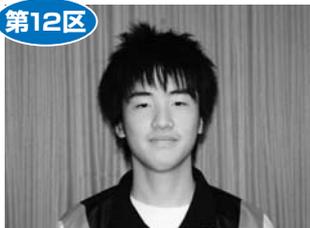
第13区



滝本 哲也 選手
(広野中 2 年)

「以前に行ったロードレース大会より3分以上タイムを縮められてよかった」

第12区



遠藤 智文 選手
(双葉高 2 年)

「不得意な下りが多くてつらかった。つらいときに、両親、祖父、祖母の沿道での応援が力になり頑張ることができた」



梶山 敦史 選手
(広野中 2 年)

「足を骨折してしまい、走ることができなかった。くやしい」

第16区



堀江 秀作 コーチ兼選手
(日本純薬広野工場)

「ケガなく、全員はしれたのでよかった。来年はもっと上を目指せるように、これからまた全員で頑張りますので、今後とも応援よろしくをお願いします」

第15区



児玉 理恵 選手
(広野中 2 年)

「後半はきつかったけど、最後までとにかく早くたすきを渡そうと走りました。後悔はないです」



斉藤 幸 選手

「みんな練習を頑張った。若い力がいかせた」



阿部 将也 選手
(広野中 1 年)

「練習はきつかった。最後に3人抜くことができてよかった」



島田 健二 選手
(広野中 1 年)

「チームが一丸となって走った。今後頑張って練習したい」

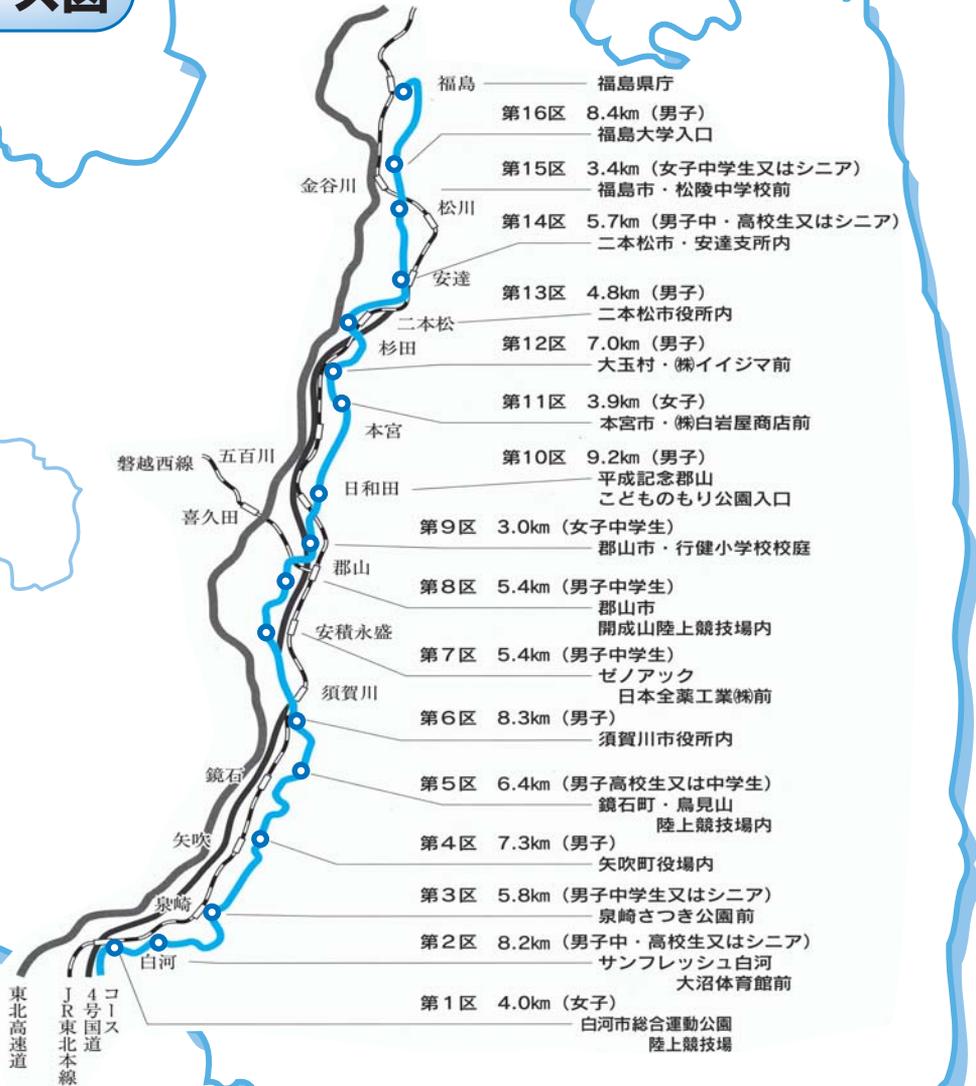


廣崎 太基 選手
(広野中 1 年)

「練習は厳しかったけど、タイムが縮まってうれしかった。練習頑張りたい」

福島縦断
96.2 km
広野町のたすきつなぐ

コース図



第1区



渡辺ありさ 選手

(いわき総合高1年)

「今日は自分がつらいときに頑張れなかった。今後、トレーニングをして努力したい」

第2区



菅原 雅春 選手

(東京電力広野火力発電所)

「私以外全員高校生の区間でタスキを受取った時、前との差1分51秒を渡す時に3秒差までつめたのは、46歳としてはまあまあだったかな？」

来年は坐骨神経痛を治して頑張りたい。」

第3区



半澤 悠司 選手

(広野中1年)

「初出場でしたが、あまり緊張せずよい走りができた」

第4区



斉藤 信幸 監督兼選手

(アトックス福島第一事業所)

「全員無事で走りきったことが一番よかった。このチームは、潜在能力の高い選手が多い。その能力を伸ばすようなトレーニングを今後していきたい。また、記録だけにこだわらず、走ることを楽しむ雰囲気を大切にしていきたい」

第7区



高橋 晃司 選手

(広野中2年)

「広野中の仲間いろいろな教わりながら頑張った。くり上げスタートだったので相手に負けないように走った」

第6区



堀江 政司 選手

(JAL - AGS 成田支社)

「力不足がでてしまった。今後、継続してトレーニングをしていきたい」

第5区



根本 正人 選手

(双葉高1年)

「アップの段階でうまくいった。メンタル的なコンディションもよかった」

今大会を終えて、選手に感想を伺いました。